



OLD は、10代の若者への働きに集中

地域・日本の希望となる若者を全力で愛する
こんにちは。いつもお祈りとご支援感謝致します。

本来5月号を発行する予定でしたが、代わりに特別号として発行したため、5月号はありませんでした。すいませんでした。

さて、今年に入って私たちの東北での開拓教会である「One Love Disciplers」は10代の若者に集中して宣教の働きを進めることをビジョンとしました。そのため、この春から、韓国、香港、台湾からの短期宣教チームを受け入れましたが、どのチームも10代の若者を対象とした活動をしています。活動と言っても、路傍伝道やトラクトを配ったり、伝道集会をするというのではなく、友達づくりを目的として、韓国語教室や国際交流会などの様々なイベントを行いました。しかし、震災後から岩手沿岸地域の



◁ 今月、10代の若者と台湾からの宣教チームとの交流会の様子

かみのおかづっ子新聞

No. 30

7月号

発行人

瀬 知行

2016年

7月20日発行

全3枚

10代の若者の様子を見ていて感じるのは、とにかく彼らは部活と学校で都会の子よりも忙しいということです。その上、学校に関係ない地域のイベント等に参加することにもあまり積極的ではありません。しかし、困難にこそ立ち向かう私たちの教会は、失敗しながらも諦めずに、チャレンジし続けています。実際、頑張って準備したイベントに若者がほとんど来ないという経験も何度もしています！「イェーイ！」上手くいかないことが多いです！お祭り以外の地域のイベントに参加する経験が少ない若者たちが、地域のイベントに参加するということは、野球部にラグビーを教えるような者です。最初は上手くいかないと思います。ここで皆さんのお祈りが必要となっています。

岩手沿岸部は、どんどん若者が減っていています。減っているので彼らのために何かイベントをしたり、彼らを対象としたNPOの活動などもほとんどありません。しかし、10代の若者は地域の未来、宝です。復興した街に誰も住んでいないのなら、何のために復興するのでしょうか。そして、10代のうちにイエスの愛に出会った僕のように、若いうちにイエスの愛に触れることは重要です。教会の少ないこの地域の若者にイエスの愛が届くように。



大盛況だった青森コーチングネットワーク説明交流会

岩手で何か大きなことでもやってみたくて考えていた 2012 年の春、当時のチームリーダーが話した言葉を私は忘れることができません。それは、「私たちは岩手で何を成し遂げるかよりも、どれだけ一致し続けるかが大事です」という言葉でした。私たちは一致し続けることを優先し、今でも活動を続けています。そして、その一致の中にイエスさまが働かれて、地元出身の受洗者が与えられたり、地域教会がより元気になっていっています。私たちの一歩は小さいですが、主が働かれてその一歩は大きく用いられるということを経験しています。岩手では 2014 年から私たちが中心となって東北コーチングセミナーを開催しました。日本の都道府県で 2 番目の面積を持ちながら、日本で 3 番目に教会が少ない岩手県。教会やクリスチヤンの数も少ないですが、2015 年度のデータでは自殺率はワースト 1 位を取ってしまいました。震災前は宣教師もほとんどいない地域で、働き人は孤独になり、教会に若者は全くおらず、行き詰まりを感じているところだったので、教会の 7 つの本質、特に「関係」が牧師の心に響いています。セミナー初開催から 3 年目になり、今年は青森県でのセミナーを目指して、6 月に「青森コーチングネットワーク説明交流会」を弘前市で開催しました。



参加者からは「以前から 7 つの本質に関心があったので参加できてよかった」という声や「何か動き出さなければと思いました」「是非、青森でコーチングセミナーを開催してください」との感想を聞くことができて感謝でした。岩手の牧師や宣教師たちも参加することができ、良い交流会の時となりました。私個人としても、弘前市には友人の副牧師もいるので、彼とゆっくり話すことができました。彼の話聞きなが青森も宣教の歴史は長いですが、牧師や教会同士の交流が少なく、働き人たちが孤独を感じやすい地域だなと改めて感じました。

具体的に次回は 9 月に弘前で第 1 回のコーチングセミナーを開催する予定です。東北コーチングの恵みが文字通り東北に行き渡り始めました！全ての栄光を神さまにお返します！

人生の目的を共に学んだ山口県での報告会 4月26日～5月16日

今年の 4 月末から山口へ帰郷し宣教報告をさせていただきました。受け入れて下さった教会、信徒の皆さん本当にありがとうございました。僕自身の小さい頃や親や祖父をご存知の方も多く会いますので、毎回アキレス腱が口から飛び出そうになるくらい緊張しますが、皆さんと共に礼拝し、その後の交わりも共にさせていただき本当に楽しい時間を過ごしています。今回は宣教報告はもちろんのこと、人生の目的を見つける「クロスローズ」を学んでみたいという声も多かったのですが、何回か皆さんに「クロスローズのダイジェスト版」を紹介する機会を持ちました。参加者からも様々良い反応を見ることができました。クロスローズを学ぶと、いかに聖書の御言葉が真理かを知ることになり、その御言葉を日常生活に活かすことができます。クロスローズは全然難しくなく、楽しいものです。



また機会を見つけて、佐賀の宣教師たちを訪ねることもできました。佐賀の武雄市には少しだけ住んでいたので、懐かしい方との再会もあり、楽しいひと時となりました。佐賀のチームは熊本・大分地震後から現地に行き支援をしていました。そこでの活動の話聞くことが出来たのも感謝でした。これからも熊本や大分、九州のためにもお祈りしていきたいと思えます。

東北宣教 4 年半で学んだこと『1対1と、コミュニティで1人を弟子として育てる』

日本で3番目に教会が少ない岩手で、どのようにキリストの弟子を育てていくか。実際それは、今も考えていることですが、ある1人の地元の男性がどのように救われたかを話したいと思います。

彼と出会ったのは、聞き屋を路上でしている時でした。何度か会ううちに仲良くなり、友達になりました。その後、私たちのセルに来てもらって一緒にご飯を食べたり、聖書を読み始めました。私と彼はたくさん時間を過ごしました。一緒にご飯を食べたり、遊んだり、ドライブしたりしました。1対1の時間を通して関係を大切にしました。また時間を過ごす中で彼が、「みんなで楽しく時間を過ごすコミュニティ」を求めていることがわかってきました。セルメンバーも彼の良いところをたくさん褒めて、彼を成長させていきました。そしてある日、キリストを信じ、バプテスマを受け、御言葉に生きています。

ここから学んだことは、「1人の弟子を育てるということ、1人ではしない」ということでした。例えばシングルマザーが1人で子育てするのが大変なことであるように、1人で1人を弟子として育てるのは大変すぎます。そうではなく、チームやコミュニティで協力するのです。それにより、弟子を育てる側が孤独で悩みすぎなくてもいいですし、チームの一致は強い影響力があるので、より大切な価値観を影響与えやすいと思います。また岩手は、孤独で自殺してしまう人が多いですが、彼らに必要なのは健全で安心できる人間関係、つまりコミュニティです。それは、教会だと私は信じています。岩手のこれからの必要なものは「健全なコミュニティ」です。人々はそれを求めていることを発見し、私たちが彼らに届くことができるかと学んでいます。1人で全部できると思わずに、チームで協力することが大事です。

祈りの課題

- ・ 私の経済的な必要が満たされ、継続して活動をしていけるように続けてお祈りください。
- ・ 私は来年海外に長期宣教師として遣わされることを祈り求めていましたが、今は一度立ち止まることを示されています。これからの方向性が神さまにはっきり示させるようにお祈り下さい。
- ・ OLD 教会メンバーと10代の若者との友達づくりが神さまの助けによって進むようにお祈り下さい。同時に、彼らにイエスの愛が届くようにお祈り下さい。

家族っていいね!



この年になると、ほとんど撮らなくなる家族写真。以前は毎年のように撮っていて、10代の頃はウザくも感じることもあったけど、「いつまでも撮れると思うな家族写真」全員揃ったら、とりあえず撮っておきましょう。ケンカも楽しい思い出も、家族がいたから出来たこと。ですね☆

瀬 知行 山口県出身 平成元年8月9日生まれ 26歳 国内宣教師&保育士

瀬知行を支える会の住所：山口県山口市大内長野 633-1

ブログ：「ともだちだよブログ」<http://blog.livedoor.jp/tomotomodati/>

メールアドレス：ahmondobc@yahoo.co.jp

支援献金の方法

私の活動は皆様の支援献金によって支えられております。経済的支援にご協力して下さる方はお手数ですが、以下のいずれかの方法で口座にお振込下さい。

ゆうちょ銀行口座番号：01350-2-99626 名義：瀬知行を支える会

他行からの振込 店名(店番) 一三九(イチサンキュウ) (139)

預金種目：当座 口座番号：0099626「瀬知行を支える会」

郵貯振替口座番号：01350-2-99626 名義「瀬知行を支える会」